



小倉ロータリークラブ 週報

R Iテーマ: “人類に奉仕するロータリー”

R I 会 長: ジョン F. ジャーム 氏
(所属: チャタヌーガ RC)

地区テーマ: “基本に返って、 魅力あるロータリーに”

地区ガバナー: 富田 英壽 氏(所属: 甘木 RC)

クラブテーマ: “魅力あるロータリーに”

会長 伊与田 修 / 幹事 松永 浩



表紙写真説明(テーマ/智積院)

智積院の庭は、つつじやさつきが見頃の5月に賑わいます。また、11月の紅葉の時期も、入口右手にある鐘楼の周囲は、カメラマンが殺到する撮影スポットになります。

【撮影: 辰巳会員 京都にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL: krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F

TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長: 佐久間 庸和

委 員: 東 隆一・高須 芳史・森 浩明・藤田 昌秀・板井 清記・成沢 裕・渡邊 昌春

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3289回

・ロータリーソング “四つのテスト”

・財団関係の卓話

第2700地区R財団委員長 岩崎 員久 氏

第3288回 例会 記録

11月18日(金) 普通例会

・ロータリーソング “それでこそロータリー”

・卓話 ㈱ギラヴァンツ北九州

代表取締役社長 原 憲一 氏

会長の時間

伊与田 修 会長

先週、米山奨学生の卓話で癌の免疫療法の話がありましたが、それに関してのお話をします。皮膚科で最も悪性度が高い癌のひとつに、「悪性黒色腫」があります。私も産業医科大学在学中に3例の患者さんを担当しましたが、2人は転移を起こし、2年持たずに亡くな

りました。当時の治療は、外科的切除後に抗癌剤と免疫賦活療法を組み合わせたものでした。ただ、免疫賦活といっても、生体の自然免疫全体を高めるものであって、特定の腫瘍に効くというものではありませんでした。その後、腫瘍細胞から種々のたんぱく質等を分離して、それに対する特異的な免疫成分が作成され、治療への応用が研究されてきました。さらには、腫瘍細胞が増殖すると、生体の自然免疫を抑制するように働きますが、この仕組みを抑えて腫瘍細胞に対する特異免疫を高める製剤も開発されてきました。「チェックポイント阻害剤」といわれる製剤で、現在悪性黒色腫に対して著効を示すことが認められています。実は、この製剤の代表的なものが「オプジーボ」であり、最近その高価な事で、紙面を賑わしています。効果的な製剤であることは疑いようありませんが、これから腎癌、肺癌へと適応が拡大すれば、当然使用量も増えていきます。科学の進歩は素晴らしいことですが、費用対効果も考えていく必要があります。



幹事報告

松永 幹事

・5月20日～22日に開催された地区大会を記録したDVDが、ホストクラブから送られてきました。貸し出しますので、ご覧になりたい方は事務局へお声かけください。

・来年6月10日～14日に、国際大会がアトランタにて開催されます。旅行会社より、参加旅行の案内が届いていますので、ご希望の方は、事務局へ声をお掛け下さい。なお、第1回目の登録締切が、1か月後の12月15日と迫っています。

出席報告

坪根 SAA

2016年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	70名	34名	—	58.62%
先週の出席	70名	37名	28名	91.94% 修正後

◆ゲスト 1名（卓話者）

◆ビジター 0名

委員会報告

社会奉仕委員会

加藤(守) 委員長

①クリーンキャンペーンのご案内です。12月14日(水)午前10時開催で、集合場所はコレット井筒屋前です。年末年始に小倉に訪れる方をお迎えする為、駅前を清掃します。雨天中止です。締切は12月9日ですが、当日参加されても大丈夫です。少し寒いかも知れませんが、清掃後の気持ち良さを感じて欲しいと思います。

②明日は早朝清掃です。30～40分間の清掃活動です。6時に小倉駅前に集合して下さい。

ニコニコ献金

牧田 副SAA

13,000円 : 累計金額 279,720円

原田 光久 君

①木曾長さん、「チャリティーコンサート 盲導犬といつでもどこでも一緒に」が大盛会で良かったですね。色々な形でご協力下さったクラブの皆様、ありがとうございました。

②加藤守夫先生、ありがとうございました。

木曾 長 君

11月3日のチャリティーコンサートの収益金1,040,000円をNPO法人全国盲導犬施設連合会へ寄付しました。ご協力ありがとうございました。

松本 篤 君

原社長ようこそ！ このタイミングですが、ゆっくりお過ごし下さい。大ファンです！ がんばれギラヴァンツ！

坪根 悟郎 君

天ヶ瀬さん、家内を医療センター大蔵先生に紹介して下さい、ありがとうございます。

卓 話

(株)ギラヴァンツ北九州

代表取締役社長 原 憲一 氏

「Jクラブとスタジアムが創る街の未来」

1. クラブの歴史

2001年 北九州フットボールクラブ設立(三菱化学黒崎サッカー部が母体。チーム名ニューウェーブ北九州)。

2004年 北九州フットボールクラブ NPO 法人格取得。新門司体育施設指定管理受託。

2007年 九州リーグ優勝。地域リーグ決勝大会でJFL(日本フットボールリーグ)昇格を決める。

2008年 JFL 参入。

10月に(株)ニューウェーブ北九州設立。

2009年 チームの管理運営をNPOから株式会社に移管。JFL第4位となり、J2昇格を決める。

2010年 J2参入～2016年J2で現在に至る。



2. クラブの設立

北九州市は、かつて実業団(企業)の古豪「八幡製鉄」(現・新日鉄住金)や「三菱化成」(現・三菱化学)を中心にサッカーの土壌が培われてきた。特に八幡製鉄は1965年の天皇杯の優勝を始め、日本サッカーリーグの創設からのメンバーであり、東京・メキシコ両オリンピックに延べ8人の代表選手を送り込むなど、日本サッカー界を支える強豪であった。そんなチームを抱えていた北九州では、県下でも早くから少年サッカーが普及し、たくさんの優秀な人材を送り出してきた。しかし、現在に至るまで、そのほとんどが北九州出身であることを知られていない。中学校を卒業すると優秀な選手の大半が、県外市外の高校やユースチームに行ってしまうためである。市民にさえ地元出身であることを知られていない残念な有様。Jリーグが発足し、地元サッカー関係者の間では、過去の八幡製鉄の栄光もあり、また県内のどの地区よりも優秀なサッカー少年が育っているのを見るにつけ、地元で彼らの受け皿を作りたい思いが強く起こってきた。福岡市に「アビスパ福岡」が出来てからは、なおさら福岡県のサッカーは北九州が支えてきたのだという自負と、福岡市に対するライバル意識が芽生えてきた。

私は、北九州市はJクラブを保有できるポテンシャルがあると考え、「アビスパ福岡」とは別の北九州のクラブを創ろうと考えた。その考えを後押ししたのが、北九州市の成立の特異性である。旧五市の対等合併から半世紀を経ながら、全国的には「北九州」が都市名として知られていないという事実は、旧五市の意識にと

らわれずに、全国に「北九州市」を発信できる機会として、また市民の一体感を醸成する手段とし「地域に根差したスポーツクラブ」(Jリーグの百年構想)を創っていく事が、北九州市にとって必要なことではないかと考えた。このように、ギラヴァンツ北九州は北九州のサッカー土壤に咲くべくして咲いた「ひまわりの花」なのだ。

3. スタジアムとクラブがつくる街の品格

いよいよ来春、北九州スタジアムが完成する。新スタジアムは、市民のスポーツ観戦のイメージを変えてしまうだろう。15,000席の専用球技場は、どのスタンドからも、サッカーのラインまで8m、観客席の87%は屋根に覆われている。メインスタンドの3階席には、VIPルームやスカイボックスがあり、ビジネスラウンジでは、サロンの雰囲気の中で飲食を楽しみながらスポーツ観戦が可能になる。競技者本位に作られた、これまでの競技場のイメージを一掃する作りである。

「駅ちか、街なか」は北九州スタジアムの売りの一つだが、現時点では日本で一番のスタジアムである。私たちの街の中心地に、こんな素晴らしいスタジアムが出来ることを、私も市民の一人として誇りに思う。そのスタジアムを使わせていただくギラヴァンツ北九州が、スタジアムにふさわしい「市民の誇り」になれるよう努めていきたい。何卒、ご支援と共に、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

IAC 例会 報告

日 時：11月17日(木) 16時20分～

場 所：小倉工業高校

参加者：村上(充)、柚、川邊、山本(泰)、
西部ガス社員

小倉工業高等学校 IAC 顧問、生徒

毎月第3木曜日は、小倉工業高校 IAC の例会の日です。いつもは視聴覚室で開催されますが、この日は、野球部が「第89回選抜高校野球 福岡県推薦21世紀枠」に推薦された関係で、別の教室で行われました。今月は、IAC 生徒さんへ向けて、川邊会員が『西部ガスの地震対策』をテーマに、30分間の卓話をされました。

【報告者：山本(泰)】



小倉駅前早朝清掃 報告

日 時：11月19日(土) 6時10分～

参加者：伊与田、松永、原田(光)、村上(充)、柚、
加藤(守)、玉井、山本(泰)、中溝、事務局
小倉工業高等学校 IAC 顧問、生徒

今月は出席が足りていませんでしたので、メイクアップを兼ねて参加しました。夜中は大雨が降っていましたが、晴れ男の山本(泰)会員が来られたお陰で、朝方は雨も止み、やや暖かい中での清掃となりました。小倉駅から旧電車通り(勝山通り)までを清掃しました。かさばるのは空き缶等の飲物のゴミですが、落ちているのは8、9割がタバコの吸い殻でした。雨にも降られず、朝から良い運動になり、楽しく活動出来ました。

丁度、舞妓さんへのお土産を両手に抱えた辰巳会員が通りかかりましたので、一緒に写真撮影に入っていました。この日の京都の紅葉の写真は、週報にてお楽しみ下さい。

【報告者：中溝】



【次回例会予告】

12月2日(金) 普通例会

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・年次総会・次年度理事役員選任
- ・卓話

小倉第一病院 院長 中村 秀敏 氏